

「京都丹波 まな Viva!」は、学校と先生を応援する南丹教育局の学びのニュースです。

「なんたん学びモデル推進校」

「なんたん学びモデル推進校」は、「京都府教育振興プラン」及び「京都丹波の教育推進プラン」に基づき、自校の現状を分析した上で、「学力向上」に係る課題解決に向けた研究テーマを掲げ、主体的な研究実践を行う研究指定事業を通して、児童生徒の確かな学び、教員の指導力向上を推進する管内の学校を支援するものです。

【1年次推進校】

①研究主題 ②研究内容 ③主な取組

亀岡市立大成中学校

- ①主体的に学ぶ生徒の育成と確かな学力を育む学習指導の在り方
- ②主体的に学ぶ生徒の育成と確かな学力を育む効果的な指導方法の構築
- ③学力テスト分析、授業評価アンケート、授業評価を生かした授業改善 等

南丹市立殿田小学校

- ①自ら学び、表現する児童を育む授業づくり ～対話的な学びを通して～
- ②・対話的な学びのある授業の在り方
 - ・言語活動を通して、表現力を高めていくための授業研究
 - ・学習理解や言語活動における効果的なタブレット活用の検証
- ③児童アンケート、授業研究、タブレット活用の検証、出前講座 等



京丹波町立瑞穂小学校

- ①・自分の思いや考えを表現し、主体的・対話的に学び合う児童の育成
 - ・小学校における教科担任制を通して、互いに学び合い、高め合う校内組織体制の確立
- ②・国語科の研究を中心とした言語活動の充実を図る指導
 - ・交換授業による児童の学力向上及び教員の指導力向上
- ③複数での教材研究、教科担任制の導入、学力テスト分析 等



京丹波町立蒲生野中学校

- ①「学びを育む京丹波町メソッド」の理念に基づいた授業改善の実践と、主体的な学びに向かう生徒の育成
- ②・生徒を学びの主体者とするための協働的・対話的な学び合い
 - ・シラバスによるカリキュラム・マネジメントと評価
- ③校内学習ルーム、「一人学習ノート」の取組、自己管理手帳の活用、一人一台端末の効果的な利用 等

【2年次推進校】

亀岡市立幼稚園

- ①「自好力 ～自分の“好き”に向き合う力～」—幼児の繰り返し遊ぶ姿を探る—
- ②幼児の実態を探り、「自好力を発揮する姿」を「心が動き繰り返し遊ぶ姿」と捉え、幼児の姿を見取り、様々な捉え方や共通の視点を共有し幼児理解を深めていく。
- ③公開保育（年4回）、園内研究会、園内事例研究会、各研究会への参加 等



亀岡市立安詳小学校

- ①主体的・対話的で深い学びを実現する授業の創造
 - ～予習・振り返りを活かした話し合い活動の充実を目指して～
- ②「振り返り」「話し合い」に焦点を当てた「安詳スタイル」の確立を目指し、授業改善を進める。また、家庭での予習を効果的に授業に活かすための教材研究、多様な学びの場の工夫を図り、学力向上につなげる。
- ③「安詳スタイル」の確立を目指した授業改善、安詳質問調査、家庭学習とつなぐ授業づくり 等

南丹市立園部小学校

- ①主体的なまなびを通して考えを深める学習指導 ～意見をつなぐ対話による深い学びの実現～
- ②児童を主体とする授業づくり
- ③南丹教育局「5つの提言」の確認、目指す児童像の共通確認、「学びのアンケート」の実施、校内研究会 等

八木中学校ブロック

- ①「地域道德」の推進と（保）幼小中連携による「主体的でよりよい社会を創る子ども」の育成
- ②・道德の質的転換を図るため、考え議論する道德を展開し、終末の振り返りに焦点をあてた研究を推進する。
 - ・カリキュラム・マネジメントにより、今までから地域の方と取り組んできた活動に道德的視点を見出し、道德教育に地域・保護者が参画する。
- ③令和4年2月15日（火）道德教育成果発表会開催



京丹波町立竹野小学校

- ①自分の思いや考えを広げ、主体的に学び合う児童の育成
 - ～語彙を豊かにし、伝え合う力を高める指導を通して～
- ②・校内授業研究と職員研修を充実させ、主体的に学び合う力を身に付けさせるための授業づくりや指導方法の工夫、教材研究を進める。
 - ・表現力、語彙力を高めるための学習環境や活動を充実させる。
- ③家庭学習の手引きの活用、学力テスト分析、評価メモの交流をとおした指導と評価の一体化研修 等



講座等の予定

※講座の案内等が配付されますので、ご覧いただき、ご参加ください。
 ※研究発表会や授業公開は、コロナ感染症対策により参加者を限定して開催される場合があります。詳しくは案内や各校のホームページをご確認ください。

南丹教育局・市町教育委員会連携「授業実践講座」(国語・算数・数学)	
授業実践講座(全体)	令和3年8月23日(月)
授業実践講座(小学校)	令和3年10月～令和4年1月(未定)
授業実践講座(中学校)	令和3年10月～令和4年1月(未定)

